

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4311
22年12月23日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

2023春闘討論 集会開催

おはようございます。

20日の長崎県の新型コロナウイルス感染者は2419人で、9月2日以来109日ぶりに2000人を超え、県内の郵便局でも感染が広がっています。

長中局でも、濃厚接触者を含め複数人が仕事を休んでいます。繁忙期でもあり、これ以上感染が拡大しない事を切に願います。

2022年12月11日(日)、春闘共闘会議主催の「2023春闘討論集会」が開催されました。会場の大村のミライオン図書館2階研修室とオンラインで結んでのリモート併用開催となり、支部から山田支部長がオンラインで参加しました。集会は乾春闘共闘議長が主催者を代表して挨拶

を行い、続いて竹下全労連事務局次長が約1時間の講演を行いました。

竹下氏からは、23春闘は本気で賃上げを勝ち取るために、どうしたらよいか等、具体的な提案がなされました。

日本の労働者の実質賃金が下がり続けている要因には、労働組合の組織率の低下と労使対等の原則が形骸化している事を挙げられました。

物価の高騰により、生活費の負担は増え続け、賃上げ世論が、かつてなく高まっている中、ベアスアップを勝ち取るには労働組合としてストライキ権の確率が重要となってくる。これは労働者にとっては最も強い要求戦術だと参加者に訴えました。



講演終了後、質疑応答休憩を挟み鳥巢事務局次長が「2023春闘のとりくみについて」提案されました。

その後、参加者からの報告と質疑討論へと移りました。

協和商工裁判報告

医労連の溝口幹事から協和商工裁判の報告がありました。

この裁判については本誌「未来」でも取り上げましたが、自死した男性は営業とトラックでの納品配送が主な仕事でした。今回、新たな事実として、配送が終わらず帰宅した後で残った仕事を自分の車でやっていったことが明らかにされました。毎月100時間を超える時間外労働で日頃から睡眠不足だったため、自分1人では居眠り運転の可能性があり、それを防ぐ為に話し相手として隣に友人を乗せてまで配送していたと報告がありました。会社が認めた勤務だけでも労災認定がなされるほどの長時間労働なのに、勤務後も終わらない配送をせざるをえなかった社

員の苦しさ・無念さは想像を絶します。

この様な労働者を使い捨てるにはブラック企業を許すことはできません。今後裁判は、来年2月3日に結審、来年度内には判決の予定となっています。



ララコープ労組

パートなどの非正規労働者はここ数年、時給アップなど待遇改善は進んでいるが正規社員の待遇改善が課題となっている。定年延長なども含め今年の春闘は正念場となる。

郵政ユニオン

「労契法20条裁判勝利」が非正規社員の待遇改善につながったか
・低すぎる給与など喫緊の待遇改善が求められている「一般職」について・ここ数年続いている

労働相談からの組合加入についての3点を報告しました。

その他、市従組や農協労組などからも活動報告などがあり、質疑討論は終了しました。その後、質疑討論に対し、鳥巢事務局次長が最後の答弁を行い、集会の最後を乾議長の団結ガンバローで締めくくりました。

今年の年賀繁忙は？

年賀状の受付が15日から始まり、来週26日には集配営業部に交付されます。

最近若い世代を中心に年賀状を出さない人が多くなっています。また「年賀状じまい」という言葉もあり、高齢者だけでなく、企業や個人経営の店などからの年賀状も減少しています。

私の若いころは、「年賀状配達」が最も誇らしい仕事と思っており、2週間近い連続出勤や連日の超勤にもかかわらず、どこか心待ちにしていました。年賀はがき処理業務は軽くなりましたが、風情も気概もなくなった気がします・・・。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員を正社員化を。

ゆげや、均等待遇、なげんご差別！

ユニオンは労契法裁判に勝利したぞ！